



0
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

タイトル番号：0092

書名：近世畸人傳

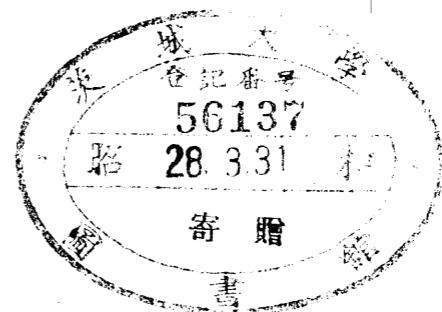
5冊

畸人傳序

管氏

包羅

鵠居穀食以頤志。牆東竈北不與藪澤二其趣。而不以高逸自處。推拍輓斷與物宛轉。肆情坦率不自擒括。而非所謂任誕也。冥外以護內。雖不為同異。亦有所不為。而非所謂狷介也。或才藝絕人。而不求售於世。土木形骸。擇野如愚。或經術吏才。取仕於封君。而行藏不拘。以規矩夫。謂之獨行。



乎。曰：非也。称之，卓行。乎。曰：非也。其人固朴。
四科之属。其行不可以一端。指名不得已。
而强題之。曰：畸人。畸者何？曰：畸者奇也。其
間有儒而奇者。有禪而奇者。有武弁而醫
流。而詩歌書畫雜伎家。而奇者要皆為一
奇。所掩。人不復知卒子為何人。故概以畸
人目之。云熊生世純好奇之士也。迄近世
上。遜勝國。得所謂畸人者數十員。終狀而
上。遜勝國。得所謂畸人者數十員。終狀而

傳之。自歎于聞見。不廣詢諸伴。嵩蹊氏。嵩
蹊氏。曰。余之素志也。余既裒政。至若干人。
請合而一之。熊生善畫。乃冥搜貌神。其於
服飾器用。亦皆原其代所尚。而一筆不苟。
下。嵩蹊氏以國語為文。宏贍簡遠。妙盡情
態。頗似臨川王形容晉人。夫其人既以畸
稱之。固弗求。聞達於當時。豈復屑乎。平自
圖。不朽者耶。大約年代浸遠。聲迹湮晦者。

十七八。二子其奚自而得之也。蓋就其宦地鄉間跡之或訪之。月孫遺友或得之于隻事。于敗冊蠹簡。百方蒐羅。鎖縫屢改。而後就緒。且其事必覈實。其言必有根。至於好事者。自後附益增長者。概乎無取焉。視之。彼顯人名流之宗系言行。粲然可臚列者。則勞逸為何如也。一日嵩蹊氏以首簡授余。謁序余曰。此範世矯俗之書也。請急

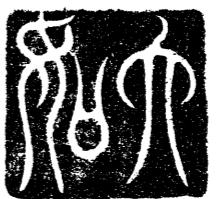
傳之。或難曰。善人之疇也。是惟性之所至。固非學而可企矣。詎可以為範乎。曰不然。以余觀之。凡此諸人。率性而動。名求其志。其迹雖或失中行。至乎其不屑於當世之名利。則一揆耳。故雷霹之琴火成之鏹。自然成趣。非待繩削而然也。夫經蓺文綜。足以黼黻沾具者。一技一能。通乎精微之蘊者。幅巾塵尾。銙、儒、談、性理。而折天

人之際者。曲彖拄杖。講經論據。巨刹者。世固不立其人。而大括興古之聖賢。其骨骼終不相類者何也。唯名之薄利為之崇也。嗚乎此數者皆人之所甚雜族而遺名利之難。又有焉。則名利之累人也。豈特焚車攬金之類而已哉。莊周有云曰彼其所殉仁義也。則俗謂之君子。其所殉貨財也。則俗謂之小人。有味乎其言之也。今觀傳

中之人。其於古之人也。未知如何然已。有典刑存焉。故其流風餘韻。猶足以使夫貪婪躁進之士。一披其卷。赫然自省。幡然易擗矣。謂之範世矯俗之書。亦不為過也。若夫施其貌蠟其言。外遺名利。而內以為名利之鉤者。乃此書之罪人也。寶鑑既懸。而妖魅無遁形焉。序而勸其傳。不亦宜乎。

嘗

寛政二年歲集庚戌春三月六如敬納
慈周叙於峨阜無著菴



觀藏道人水忠原書



近世畸人傳

題記

○此紀ハ「」の花顛と號めの御よりて云々。
主とハめり歟とされば「」といふ。畸人を
もく同といとも、その「」が「」と號め集められた
後れも、其も「」と號め人をして名を號むても、其傳
を「」と號め「」と號めて「」と號め「」
○五言詩の「」と號め「」と號め「」
自解人内一かじい記ハ此と號め「」と號め「」
あが、況よほ西の「」と號め「」と號め「」
體へうよ人の「」と號め「」と號め「」

と、某日、慈御がおひるどきおひらが御事のところに
おうなづけられ、かへりて御内閣の御事へおひられど
其中まことに、おおきな御事、大抵事乃へて、ひへておう
あるがの時、人二三をと仕とせし御先、お手を
ハ数名のて、ひへて、世乃へ工をうへて、行かへる御
事とおもふと、おひらば、お水の飲と見て、時は
申るとあれど、傍のうち、御おこえする人あへ
て、おひらへ、さればおれが洗面服ふくのひの
だよとおせがおこえられば、おこえがじと人あへ
て、おとととおもひら人のおひらとおひらと
おもひらの、おもひらの、おもひらの、おもひらの、
おもひらの、おもひらの、おもひらの、おもひらの、

のうとだらうが、二種類、一時は
トコロを、拾遺の物のび、あれども、
おそれへうたうかうか、桑榆子をねば再びの
機へ放ちゆくことあらず、

○朝鮮の人民は種々の税を負ひてゐるが、
槍と馬車を以て逃げ出る者もあつた。
○朝鮮の人民は種々の税を負ひてゐるが、
槍と馬車を以て逃げ出る者もあつた。
○朝鮮の人民は種々の税を負ひてゐるが、
槍と馬車を以て逃げ出る者もあつた。
○朝鮮の人民は種々の税を負ひてゐるが、
槍と馬車を以て逃げ出る者もあつた。

○伍長はひしのぎの手とおもてんばでひて
「うへ、おまえは、おまえがわざとおまえ
のうへ、例とぞ思ふ。」とおもてんばを抱き
ておまえの腰を抱き、おまえの腰を抱いて
おまえの腰を抱いておまえの腰を抱いて

此卷所載皆為日本之物。其圖畫亦多有風趣。其題名亦頗有趣味。如「大富」、「小富」、「富貴」等。其圖畫亦多有風趣。其題名亦頗有趣味。如「大富」、「小富」、「富貴」等。

大和八代中興元年

大和八代中興元年

圖錄

第一卷

牛江藤樹

附著心

東原益轉

僧 桃水

僧 無能

長山霄子

草夢葉子

美狹綱子

同者七人共繪者

伊藤小亭

官 菊園

駿府義始

木 楊利兵衛

河内清七

大林保麻子

近江新六

龜田久共衛